

全国漁業信用基金協会 福岡支所



1 福岡県の紹介

福岡県は九州の北に位置し、古くからアジアの玄関口としての役割を果たしています。福岡、東京間 880km に対して、福岡、上海間は 890km とほぼ同距離にあり、福岡、ソウル間は 540km と、朝鮮半島や中国大陸に極めて近い位置にあります。このため、古くから海を越えた交流が頻繁に行われてきました。

宗像市の沖ノ島は、日本列島と朝鮮半島との間に位置するため、当時から高度な航海技術をもった宗像地域の人々にとっての道標となり、「神宿る島」として島全体が信仰の対象とされ、厳しい入島制限などが行われてきました。

こうした歴史をふまえ『「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群』は、2017年7月に世界遺産登録されました。



世界遺産 沖ノ島

みあれ祭

福岡県の総面積は 4,987 km² (2020 年)、総人口は全国第 9 位の 514 万人で、29 市、29 町、2 村があります。また、県内総生産 (名目) は 20 兆円余となっており、九州の約 4 割を占めます。

【自然の恵みを味わえる豊かな食】

福岡県は、食べ物が大変おいしいことで有名です。それぞれ特色ある筑前海、豊前海、有明海に囲まれ、とれたての新鮮な海の幸を味わうことができます。天然トラフグやマダイの漁獲高は全国有数で、農産物も、イチゴの王様「あまおう」やイチジクの「とよみつひめ」をはじめ、ミカン、カキ、ブドウなどさまざまな果樹栽培

も盛んです。このほか、ラーメン、うどん、水炊き、もつ鍋などの福岡ならではの郷土料理も楽しめる、まさに「食の宝庫」と言えます。



玄海とらふく



多彩な水産物



もつ鍋

【夜を彩る福岡の食文化・屋台】

福岡といえば屋台も見逃せません。店舗数は日本一を誇り、福岡、北九州、久留米市内などが有名。それぞ



博多の屋台の風景

れの地域で特色があり、カラフルなのれんを下げた屋台が並ぶ様子は、夜の街を彩る風景として多くの人に親しまれています。

【四季折々の豊かな自然と伝統の祭り】

福岡市、北九州市など、大都市のすぐ近くを海、山、川と豊かな自然が囲む環境の良さも福岡の魅力の一つ。



博多祇園山笠

季節ごとにさまざまなレジャーを楽しむことができます。

また、日本三大祇園祭に数えられる「博多祇園山笠」等、地域に根付いた伝統的な祭りが開催されています。

2 福岡県の水産業

福岡県は、外海性の筑前海、内海性の豊前海、内湾性の有明海と3つの特色ある海に囲まれ、豊富な水産資源に恵まれています。

[筑前海]

対馬暖流の影響を受ける外海性の海域で、水深は120mより浅く、なだらかな海底地形となっています。海底には、天然礁が多く分布しており、沿岸の岩礁域には藻場が広がり、極めて優良な漁場が形成されています。

マアジやマサバを主な対象とするまき網漁業や、マダイを対象とするごち網漁業をはじめ、さし網、つり、小型底びき網漁業などの漁船漁業が盛んです。また岩礁域ではアワビ、サザエなどを対象とした採貝漁業が行われています。筑前海に臨む宗像市の鐘崎は、日本海沿岸の海女発祥の地といわれています。



一双ごち網漁業



まき網漁業

[豊前海]

瀬戸内海最西部の周防灘に位置する内海性の海域です。水深は15mより浅く、海底は泥または砂泥で、干満差は約4m、沿岸域には干潟が形成され、甲殻類や貝類の良

好な生息場となっています。

豊前海では、カレイ類、エビ類、ガザミ類などの魚類や甲殻類を対象とした小型底びき網、小型定置網が主要な漁業となっています。干潟域では、アサリなどの貝類を対象とした採貝漁業も行われています。また、カキ養殖業も盛んで、殻付きの「豊前海一粒かき」は全国に販売され、濃厚な旨味が好評です。

[有明海]

筑後川をはじめ多くの河川が流れ込む内湾性の海域です。水深は15mより浅く、海底は泥または砂泥で、干満差が最大6mに達し、干潮時には約20km²の広大な干潟が出現します。

有明海ではノリ養殖業が盛んで、支柱式養殖による極めて高品質なノリを生産、生産量は常に全国上位に入っています。干潟には貝類や甲殻類が多く生息し、アサリ、サルボウなどを対象とした採貝漁業、タイラギを対象とした潜水器漁業、エビ類を対象とするさし網漁業等が行われています。



支柱式ノリ養殖の風景



ノリの収穫

3 福岡支所の概要 (令和6年3月末現在)

- 住所：福岡市中央区舞鶴 2-4-19
福岡県水産会館 6階
- 電話：092-781-4981
- 全国協会副理事長：石田 祐幸

- 会員数：89 会員
- 出資総額：1,066,700 千円
- 保証残高：4,839,247 千円
- 常勤役員：5 名 (内 臨時職員 1 名)

4 福岡支所の取組み

福岡県では、基幹養殖業である有明海のノリ養殖において、令和4・5年度の2年続けてプランクトンの異常発生に見舞われ、生産枚数の大幅な減少が生じるなど、生産者をはじめ関係者に不安が広がっています。福岡支所としては、県や有明海漁連との情報

交換を密にしてこれらの事象に適切に対応するとともに、九州信漁連との連携を図り、国や県の支援施策等を活用しながら、融資の円滑化と迅速な保証提供に向けて、これまで同様、漁業者に寄り添った保証機関としての役割を果たしてまいります。